

臨床研究・調査の概要

研究課題名	オキシコドンの忍容性に及ぼすポリファーマシーの影響 (多施設共同後方視的観察研究)
研究の概要	<p>【研究の目的・意義】がん罹患者数の増大に伴い、併存疾患治療目的の多剤併用（ポリファーマシー）が社会問題となっている。がん疼痛治療に用いるオキシコドンは主にチトクローム (CYP) 450 の分子種 CYP3A4 により代謝されるが、CYP3A4 や CYP2D6 を軽度から中等度に阻害する薬剤やこれらの代謝酵素の基質となる薬剤を複数併用した場合の臨床的影響を検証した研究はない。本研究は、オキシコドンを使用した患者において、CYP3A4 や CYP2D6 を阻害する薬剤やこれらの代謝基質となる薬剤を併用することによるオキシコドンの忍容性や副作用への影響を検証することを目的とし、ポリファーマシーによる薬物間相互作用によってオキシコドンの副作用増強を回避するための基盤となるデータを算出することで、患者の QOL に貢献できるものと考えられる。</p> <p>【研究対象者】2018 年 8 月 1 日から 2019 年 7 月 31 日までの間に経口オキシコドンの徐放性製剤を 1 日 10～20mg で服用を開始された患者</p> <p>【研究の方法】※研究期間を含めて記載 研究対象者の診療録より抽出した情報を後方視的研究とする。対象者の臨床所見、検査値、オキシコドン開始 2 週間以内に定期投与された併用薬剤、投与量、オキシコドンの継続性、悪心・嘔吐の発現を調査する。調査した情報は、研究事務局である淀川キリスト教病院において統計解析を行う。</p> <p>【研究期間】倫理委員会承認日～2021 年 3 月 31 日 個人情報には削除した上で匿名化し、個人情報が流出しないようプライバシーの保護には細心の注意を払う。</p>
研究資料の入手・閲覧	<p>研究資料については、研究対象者または当院が認める親族等の方からのご要望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障のない範囲で提供いたします。</p> <p>研究資料の入手・閲覧を希望される方は、次へご連絡ください 富山市民病院 診療科：薬剤科 役職：副主幹 氏名：石川見佳 TEL 076-422-1112 (代表) FAX 076-422-1371 e-mail jimukyoku@tch.toyama.toyama.jp</p>
個人情報の開示に係る手続	富山市個人情報保護条例に規定する手続きに従い、適切に対応いたします。
相談等への対応	研究対象者からの除外を希望される場合、その他当該研究に関する相談等については、関係資料の入手・閲覧と同じ連絡先にご連絡ください。

